

萩市須佐地域

公民館だより

須佐地域生涯学習推進
マスコット「まな坊」

令和8年

3月

第632号

※題字は昭和48年発刊第1号時のもの

**集おう！学ぼう！
手をつなごう！**

発行/須佐公民館 〒759-3411 萩市大字須佐4570-1 TEL08387-6-2310 FAX08387-6-2030
弥富公民館 〒759-3302 萩市大字弥富下4043 TEL08387-8-2044 FAX08387-8-2212
特定非営利活動法人 須佐元気なまちづくりネット

寒さに負けない！体づくり

須佐保育園風の子大会



園庭を元気よく走る園児たち「よ〜い、ドン！」



着ぐるみの応援隊も来たよ！

《今月の話題》

- 節分豆まき：須佐保育園、放課後子ども教室・・・2P
- 保育園児、なわとびとマラソンをがんばる・・・表紙、3P
- 「すさピンポン部」の活躍を応援・・・7P
- 令和8年度行事募集のお知らせ・・・8P



「あやとび」何回とべたかな？

2.3 節分豆まき行事

自分の心の鬼を追い出そう！

2月3日は「節分の日」。須佐保育園、須佐放課後子ども教室では、恒例の豆まき行事がそれぞれに開催されました。

須佐保育園

毎年、園内で節分行事を行っている須佐保育園。2月3日（火）、この節分の日にあわせ、年小、年中、年長に分かれて作られた鬼の面が、披露されました。

まずは、その鬼の面をかぶって年少さんから自己紹介。先生が「自分の中のどんな鬼をやっつけたんですか？」という質問に、「眠たい鬼」「怒る鬼」「ゲームを止めない鬼」など、いろんな鬼が園児たちの心の中に隠れているようでした。特に「眠たい鬼」が多くいたようです。

年長さんの面は、両目で確実に見えるように長四角の穴が開いていて、後は園児一人ひ



やじろべえのように手が動く鬼



迫力ある年中さんの鬼たち



とりが自由に作成されていました。年中さんの面は、角が大きくてお面の周りに穴がたくさん空けられていて、その穴に毛糸を一本ずつ通して髪の毛やひげに見立て、小さい園児が一目見て怖がるくらいリアルに作られていました。年小さんの面は、とにかくかわいくて、両手がやじろうに動く仕掛けになっていました。

鬼の面の紹介の後は、新聞紙で丸めた豆を使って鬼退治をしました。鬼は、園児たちの心の鬼が詰まった、段ボールでできた大きな鬼です。大きな口を開け、そこをめがけて「鬼はーそと！」と言いつつ、豆をぶつけていました。そこへ現れたのは、本物？の赤鬼

と青鬼！でも今年はちよつと違います。走り回らず、「ステージから出てこないでね」の先生の要望に「はい、分かりました」と素直な鬼たち。「今日は、みんなの心の鬼を退治する手助けに来たんだ」と。園児たちを怖がらすのではなくて、自ら園児たちの的になり来たらしく、「僕たちをやっつけて！」と鬼たちが言う、園児たちは「鬼はーそと！」と言いつつ豆を投げつけ、鬼退治が始まりました。



笑顔と泣き顔の記念写真！

鬼は、何度も豆をぶつけられ、「いたい、いたい」と叫んでいましたが、やがて2人とも倒れてしまい、園児たちは、心の鬼をやっつけることができました。鬼の優しい心に園児たちは「鬼さんありがとう」とお礼を言う、鬼は、最後に、赤鬼さんと青鬼さんと仲よくなつた記念に、年長、年中、年少それぞれ順番に写真を撮りました。みんなの心の鬼がいなくなつて良かったね。今年も元気に、仲よく頑張りました！

須佐放課後子ども教室

2月4日（水）には、放課後子ども教室で豆まきを行いました。



豆は、大豆を柔らかくして炒った豆で、須佐公民館の事務所と須佐文化センターの玄関前から外へ向かって、大きな声で「鬼はー外！」と言いつつ豆をまきました。

一週間前の活動日では、紙皿を使った鬼の面を作り、それを頭にかぶって記念写真も撮りました。

昔から伝わる、季節ごとの日本の風習を子ども達に伝えることは、大切なことだと思います。子ども達も季節の行事を楽しんでくれることで、次世代にも伝えていくことができるのではと、改めて感じました。



豆まきを楽しむ子ども達

冬 子どもの体力づくり

真冬の2月、須佐地域の子ども達は寒さにも負けず、いろんなスポーツ行事に取り組んでいます。

子どもは 國の子元氣な子！



須佐保育園

2月10日（火）、今年も須佐保育園では風の子（寒さに負けない子どもになろう）大会が行われました。

当日は、多くの保護者やおじいちゃんおばあちゃんも応援に集まりました。もちろん須佐の応援隊、萩市保健推進協議会須佐支部（以下「保健さん」に省略）も可愛い着ぐるみを着て、応援に駆けつけてくれました。最初は縄跳びを行いました。3分間がんばって飛び、その後、白組さ



長縄跳びもうまく跳べたよ！

んが成果報告を行った後、各年齢に合わせて長縄跳びも行われました。白組さんは50回連続で飛ぶという目標を持って、真剣な表情で取り組んでいました。

持久走では、1・2歳児も園の周りを走りました。園児たちの「もっと走りたい！」という希望により、当初予定していた距離よりも1周長い2周に挑戦していました。

年少・年中・年長は、さらに距離が長く、自分が何周走ったのかを力



拍手と歓声の中、元気よく走る園児たち

ラストで数えながら走っていました。園庭では保護者が、正面玄関前では着ぐるみを着た保健さんが応援してくれていました。途中転んでしまった子もいましたが、泣かずにすぐに立ち上がり、諦めることなく最後まで完走していました。

全員走り切った後の園児たちは、みんな誇らしげな顔をしていました。

生き活き教室

ぽかぽかメッセージ を作ろう！



つどい会

2月4日（水）の学級会は、毎年恒例「恵方巻づくり」をしました。「恵方巻作るの楽しみだね」「あの巻くのが難しいよね」と、皆さんとても楽しみにされていました。

一年ぶりという方も多く、最初に巻く人の手元を集中して観察し、手順を確認されていました。恵方巻の他には、大根餅のすまし汁と豆乳きなこプリンも作りました。すまし汁は、大根をすりおろし、桜エビと片栗粉を加えて鍋で火にかけながら混ぜ続けて粘り気を出します。大根をおろす作業と練る作業力仕事で、交代しながら



手巻き寿司、上手に巻けました

作業をされていました。桜エビを入れることで、きれいなピンク色になり「エビだけでこんなにきれいな色になるのね」と、作りながら話されていました。

午後からは壁面制作をしました。

折り紙でハートを折り、その中にぽかぽか言葉でメッセージ（相手を書きたい気持ちにさせる言葉など）を書いて、それを画用紙で作った大きなハートに張り付けていきました。



いろんなぽかぽかメッセージが...

ハートの折り方は、割とシンプルなので皆さんサクサク折られていましたが、ぽかぽか言葉でメッセージを書く段階になると「ぽかぽか言葉...ぽかぽか言葉...」「うれしい言葉...なにがあるかな...」とペンを片手に頭を悩まされていました。なんとか時間内に大きなハートをメッセージで埋めると、「可愛いね」「メッセージも素敵だね」と、出来上がった作品を見ながら、皆さん楽しそうに話していました。

3月中旬まで須佐公民館1階ロビーにて展示していますので、ぜひハートの中のメッセージも見てください。

公民館学級

フェルト手芸に挑戦

須佐あおば勉強室

1月22日（木）と2月5日（木）、須佐公民館でフェルトを使ったくす玉作りを行いました。

最初に、9枚の花びらと芯をくっつけた花を12個作り、それを土台となる丸い形のフェルトに半分の6つ花をくっつけたものを2つ作って、半球の裏をくっつければ、まあいい一つの円になった花のくす玉が出来上がります。参加者は17名。



黙々と花を作る参加者

皆さん、ボンドでくっつける作業に悪戦苦闘していました。やる気は充分あり、2日間かけて出来上がったくす玉を見ると、「かわいい！」「ようできた！」とみんな作品を見せあっていました。



身体を緩める マッサージとは…

弥富さつき学級

1月26日（月）、弥富交流促進センターで、第5回目のさつき学級を開催し、15名の参加がありました。

今回は、講師にリンパケアマネージャーの末益絵梨さんをお招きし、「身体を癒して心地よい自分へ」と題して、身体を緩めるための呼吸法や肩こりの解消の仕方、ハンドケアなどを教えていただきました。

始める前に、「身体を緩めることは大事！自分では力を入れていないつもりでも、無意識のうちに身体に力が入っている。口の中の両側に線が入っている人は、寝ている時も力が入っている。力が入ることによって肩こりの原因になる。」とお話をされました。

肩こりの解消の仕方として、鎖骨呼吸法（吸う息で鎖骨や肩まわりを広げ、吐く息でそれらを引き下げる、



講師の末益絵梨さん



2人交互に鎖骨呼吸法を行う参加者の皆さん

肺の最上部まで空気を入れる胸式呼吸の一種）を教えてくださいました。

まず2人組になり、お互いに補助をしてもらいながら、実際に鎖骨呼吸法を体験してみました。初めて体験される方ばかりで、分からないところは末益さんに聞きながら呼吸法をされていました。あごが下がらないよう注意しながら、呼吸の仕方をしつかりマスターされると、皆さん「腕が上がりやすい」「身体が楽になった」と喜ばれていました。

次に、ハンドケアの体験をしました。手にはたくさんツボがある」と末益さん。万能ツボの位置（人差

し指と親指の間の辺り、手をグーにした時に中指が当たる辺りなど）やマッサージの仕方などを詳しく教えていただき、その後、実際に手のひらにオイルを付けて、2人で交代をしながらマッサージをしました。「手がぼかばかするね」「人にしてもらったら気持ちいよね」と、皆さん楽しそうな様子でした。

最後に「終わった後は、水分をしっかり摂って、しつかり老廃物を出しましょう」「自分の幸せのために、これからも身体のケアを心掛けて、いつまでも元気でいて下さい」とお話をされた後、皆さんも「お父さんにもやってあげよ」「楽しかったね」と大変満足された様子でした。

ご参加いただいた皆さん、ありがとうございました。



2～3人で、手をマッサージしている様子

地域の原動力

公民館 新聞誌

56



旧 須佐町中央公民館

次代に伝えたい

102人の証言

誰も予期しなかった、平成25年7月28日山口県北部豪雨災害、記録によれば約200年前の文政4年(1821年)の大洪水は、床畳の裏書によれば、200年周期でこのような被害に襲われています。私たちは、なぜか運悪くこの周期に巻き込まれたのかもしれない。

今から考えると、今回の災害を良い方に考えると、あれが真夜中だったら、日曜日でなかったら、子ども達は保育園に通い、夏休みの子ども達は、親の居ない自宅で不安な留守を過ごしていたのではと思うと、まだまだ多くの被害者が発生したに違いありません。

そこで、ふっと思ったことは、これも何かの縁、今私たちにできることは、この出来事を後世に伝えるということではないかと考えました。

平成25年夏に発生した、この災害を伝え、自らの命を守る術を記録として伝えるためには、生き証人の証言をまとめることが、後々役に立つことになると考えました。



豪雨災害「次代に伝えたい102人の証言」

とにかく記憶が薄れないようにと思い、公民館だよりを通して、住民の方に災害の証言を呼びかけ、協力して頂くこととしました。

冊子作成については、今の時代災害時の写真や動画は沢山集まりましたが、記事(文字)となると、難しい方もおられました。そこで、記事を作ることができない方には、インタビュー形式で記憶を蘇らせるという形で了解を得ました。

そして、最終的には、102名106件の方々の証言を頂くことが出来ました。後は、この記録を須佐地域ふるさとづくり協議会の協力を得ながら、小冊子として、須佐地域内にばらまき、地域の記録として残すこととしました。

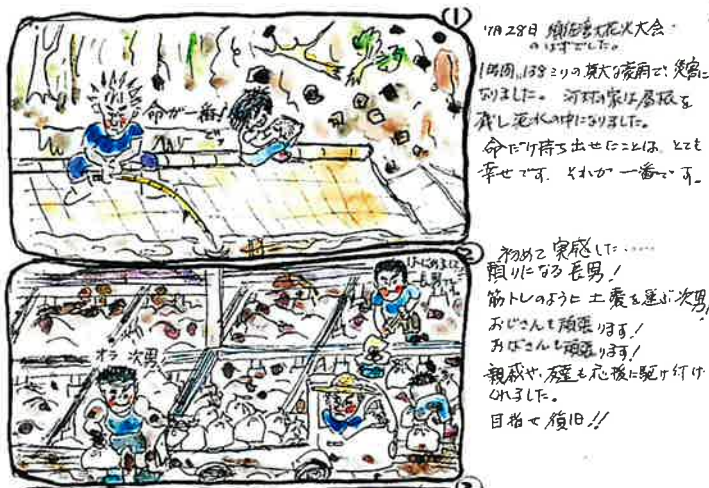
生々しい災害の記録が・・・

証言には、小学生の目線で見た怖かった思い出やボランティア活動への参加、そして中学生は、親の居なかった時の様子や田畑を失った祖父の辛さ、大人たちは濁流に流され命拾いした一瞬の出来事や消防団での活動など想像を絶する出来事の多さが、皆さんから提供されました。

また、証言された住民のKさんは、当時の様子(天井まで浸水を克明に、イラストで記録されており、写真では語れない情景を見ること

ができました。

とにかく、当日の災害の様子が文字だけでなく、色々な形で克明に記録されていることに驚き、災害時の様子が、本当に昨日の事のように蘇ってきます。



Kさん豪雨災害復旧イラストの一部

この冊子は、証言をされた皆さんや希望者に配布する一方、須佐図書館でも見ることが出来ます。

やはり生の声を伝えるということの必要性は、将来の須佐地域の歴史資料として役立ててもらえれば嬉しい事です。

ぶらぶら

まちの
あるき



タモリに負けずわが町を紹介

「ブラタモリ」ならぬ『ぶらぶら
タムラが、わが町を紹介します。

今回は、前回に引き続き「禁門の
変と須佐」須佐兵達の活躍を紹介し
ます。

池田屋事件おこる

京都市営地下鉄東西線に乗って、
京都市役所前駅で下車し、出口を出
ると三条通りに出ます。地下鉄駅口
から、徒歩5分くらいで「池田屋食
堂」に到着します。この食堂入口横
に、高さ150cm、幅30cm位の石碑が
あり「池田屋騒動之石碑」が建って
います。その側には、当時の事件を
解説したパネル板が設けられてい
ます。

今から162年前、文久3年(1863)
に起きた政変により、尊攘派(天皇
を尊び外敵を斥けようとする思想)

の勢力が押さえられてきたので、そ
の勢力の回復を計り、尊攘派の志士
達が京都に潜伏し活動を活発化し
たため、京都守護職、京都所司代、
新撰組等は警備を強めていました。

新撰組は、京都三条の旅館を内偵
し、元治元年(1864)6月5日早朝、
近江の尊攘派志士1人を捕えて尋
問して「志士達に京都市中への放火、
中山宮朝彦親王や松平容保(かたも
り)の暗殺計画がある」などの容疑
があるとして、同夜池田屋で会合中
の志士達を襲いました。駆け付けた
京都守護職の300名が取り囲む中で、



池田屋騒動記念碑

新撰組が中心となって激闘し、志士
7名を斬殺し、23名を捕えました。
この事件により、新撰組の評判があ
がることになりました。

一方尊王攘夷派の藩や志士達を
(この事件は)憤激(ひどく怒る)さ
せ、禁門の変の原因となりました。
長州藩士の吉田稔麿(としまろ)、

肥後藩士宮部鼎蔵(ていざう)など
が、この池田屋で新撰組の凶刃に倒
れました。なお、長州藩士の桂小五
郎(木戸孝允)は、危機一髪で難を逃
れることができました。

また、新撰組は、文久3年(1863)
江戸幕府が芹沢鴨、近藤勇、土方歳
三などの武芸に優れた浪士を集め
て編成した警備隊、京都守護職に属
し尊王攘夷派らの鎮圧にあたつた
と記録されています。

「蛤御門の変」勃発前

記録を見ますと、時は元治元年

(1864)に益田親施(ちかのぶ)公

が兵を率いて上京(京都)するまで
は、須佐兵の山口氷上山(ひかみや
ま/現山口市御堀、氷上の興隆寺)
での部屋割、乗船の手配(三田尻よ
り)などしたのは波田与市(須佐益
田家上士、禁門の変では陣場奉行

〈陣の位置を決める役職〉として親
施に随行している)が先行して行い、
更に大阪での宿の手配などをして、
到着を待ったが、同年7月13日益
田親施一行は、大阪に泊らず、京の

情勢が切迫していたので到着と同
時に京都に向けて出発し、7月14
日正午には山崎陣所(京都南部)宝
積寺に布陣しました。そこにある男

山(京都盆地の南、石清水八幡宮が
ある、交通、軍事上の要所)に本陣
を置きました。

その14日には早速、久坂玄瑞と
田村育蔵(須佐の志士)が本陣を訪
れています。ここで、大谷樸助(ぼ
くすけ)に関する資料によりますと、
長州兵が6月23、24日と続々と京
都周辺に布陣する中で、6月25日
久坂玄瑞は、大谷樸助、藤村幾之進
の2人に朝廷に対する哀願書(情を
訴え、物事をお願いする)を携えて、
淀城(大阪城)へ行き藩主稲葉美濃
守へその書を渡すよう託しました。

2人は

直ちに淀
城に赴き、
城門を叩
き大声で
呼んだ、

「長州藩
の者であ
るが、城
主に面謁
を・・・」



長州藩が担当していた京都御所堺町御門

※訂正/1月号ぶらぶらタムラの
記事の中で西村武正さんの逝去日
が間違っていました、令和7年1月
に訂正します。

『すざびんポン部』

第25回萩市コミュニティ卓球大会が、1月25日(日)に萩市民体育館で開催され、日頃、須佐公民館で活動されておられる「須佐ピンポン部」が大会へ出場されました。

ダブルス

W3チーム



相互優勝へ!

はじめに、リーグ戦が実施され、各グループの1・2位と3・4位に分かれて決勝トーナメントに進出。

上級は、大会最終戦となり注目の的です。メンバーも全員集まり、我がチームのスマッシュが決まると拍手で応援。ゲームカウント2-2となり、最終第5ゲームは白熱したラリーが続きましたが、見事な決定打で優勝の栄冠に輝きました。



上級優勝

(左から)堀田さん、堀野さん

中級では、確実につなぐ・積極的
に攻撃と、ペアの打球を活かすサ
ビス・動きなど苦戦したものの、日
頃の練習の成果で見事相互優勝を果
たしました。



中級B：1・2位G優勝(右写真)衛藤さんと大野さん、
3・4位G優勝(左写真)内田さん夫婦

「須佐ピンポン部(卓球)」は、
平成17年3月6日に立ち上がり、毎
週月・木・土の3日、仕事が終わっ
てから、須佐公民館の3階大ホール
で練習しています。

現在、男性6名(30〜74歳)、女
性8名(43〜68歳)の14名で、初心
者の方から上級者まで、日頃の運動
不足を補うなど、和気あいあいと交
流しながら、楽しく活動しています。
皆さん、これからも応援よろしく
お願いします。

『まなぼう号』3台目 お披露目式!

須佐図書館



新しくなった移動図書館「まなぼう号」

『ひな人形展』開催!

今年も3月の桃の節句に併せ、皆
様から寄贈していただいた「ひな人
形」の展示が催されます。
古き良きひな人形を見に、
是非会場へ足を運びください。



★開催期間 2月28日(土)

〜4月5日(日)

★展示場所

須佐歴史民俗資料館

「益田館」

★お問合せ

須佐歴史民俗資料館

☎63916



今年は、どんなひな人形が見られるかな...

2月9日(月)、育英小学校体育
館で、須佐図書館運営の移動図書館
「まなぼう号」の車が新しくなった
記念として式典が開催されました。
車は軽自動車となり、約900冊
の図書を載せ、狭い道でも通行しや
すくなっています。また、巡回頻度
や巡回箇所も増え、より親しみやす
い移動図書館となります。
車のデザインは、須佐・田万川地
域の小学校の児童と、中学校の生徒
の意見を取り入れたデザインとなっ
ており、積み重なった本を須佐ホル
ンフェルスに見立てた「ホ(ル)ンフェ
ルス」という架空の世界観をモチー
フとしています。巡回回数も増える
そうですので、皆さん是非ご利用く
ださい。
※詳細は須佐図書館へ

須佐放課後子ども教室 スタッフ募集!

学校が終わった放課後、子ども達が安全で安心して過ごせる居場所作りとして、小学校児童を対象に開設しているのが「放課後子ども教室」です。

そして、その子ども達と一緒に活動しながら、子どもの安全を見守っているのが、須佐地域の住民を対象とするスタッフのメンバーです。

しかし、少子化で、子ども達の人数も減ってはきているものの、見守っているスタッフも高齢化や若者も共働き世代が多く、見守り当番もギリギリの人数で行っている状況です。

そこで、私たちと一緒に活動していただけるスタッフを募集します!是非ご協力をお願いします。



○活動日 平日：毎週水曜の放課後～17時

夏休み等：毎日13：00～17時

(※時間は内容にもよる)

○主な活動：月1回の定例会、見守り、花壇作業

○謝金：1時間630円

○問い合わせ：須佐公民館 担当：緒方

令和8年度 生き生き教室会員募集!

元気な熟年者を支援する「生き生き教室」は、来年度で11年目を迎えます。

毎月1回開催されておられる須佐公民館での学級会「つどい会」をはじめ、毎週月・水・金を主な活動日として、これまで会員さんが立ち上げてこられたクラブ数は約14クラブとなり、皆さん生き生きと楽しく過ごされています。

生き生き教室は、皆さんが健康で毎日笑顔で過ごされることを目標に生活していただきたいと願っています。

つきましては、4月から新たに会員を募集しますので、是非ご参加ください。

○対象地区 須佐地区・弥富地区

○年会費 1人1,000円(但し、クラブ活動により材料費を別途徴収)

○申込み・問い合わせ先

須佐公民館 担当：土井

☎6-2310



い
衛ちゃん

まちの駐在さん



Q：県内では、子どもに対する犯罪やその前兆となる声掛け事案が多く発生しているそうです。新学期を迎えるにあたり、子どもを犯罪被害から守るため、地域でできることはありますか。教えてください。

「お答えします」 須佐駐在所：衛藤豊文

警察では、地域の誰でもができる見守り活動として、日常生活の中で、少しでも「防犯の視点」を持って、地域の子どもの女性、高齢者などを見守る「ながら見守り活動」を推進しています。

●「ながら見守り」にご協力を!

通学路などにおいて、防犯ボランティアの方が見守り活動を行っていますが、子どもを犯罪被害から守るためには、地域の皆さんの協力が必要です。

そこで、地域の皆さんは散歩や買い物等の日常生活をしながら、事業者の方は事業活動をしなが、子どもの安全に気を配る「ながら見守り」にご協力をお願いします。

●「ながら見守り」のポイントは?

子どもに対する声掛け事案等は、登下校時間帯の通学路で多く発生していますので、こうした時間帯、場所での子どもの見守りが効果的です。

万が一、
○子どもが被害にあっているのを見た
○子どもが助けを求めてきた

ときは、すぐに110番通報しましょう。



生涯学習作品コーナー

【お気に入りの一品】を募集！

「須佐地域公民館だより」では、普段から作成されておられる作品や写真、珍しい一品など、ちょっと紹介してもらいたいと思うような、「お気に入りの一品」を募集しています。

公民館まで持ってこられなくても、お電話一本で、皆さんのところまでお伺いすることもできますので、まずは皆さんからの連絡を心よりお待ちしております。



●投稿・お問合せ先

須佐公民館 電話6-2310

弥富公民館 電話8-2044

【俳句】

水仙の香りてすつきり凜として！

(山根丁東) ゆめはるか

【短歌】

寒波去り庭の白梅蕾(つぼ) み付け

春の訪れ近しと告げる

(青葉台) 田村雅利

極寒に大雪ありて火事多く

テレビの報道身に沁みる日々

(山根丁東) ゆめはるか



須佐の偉人伝 大塚均

108



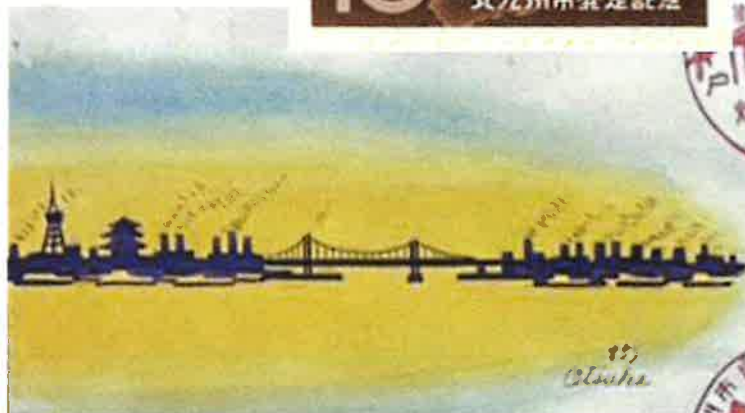
大塚 均 (1911-1998)

北九州市発足5市合併記念切手

昭和38年2月10日に門司市、小倉市、若松市、八幡市、戸畑市の5市の対等合併を経て誕生した。

関門海峡で本州と隣接していることから、古くから九州の玄関口・交通の要衝としての役割を担ってきた。当市は九州内の主要な国道や鉄道路線の起点であり、明治10年代から九州鉄道(現在の鹿児島本線の前身)や関門海峡に面した門司港、かつて日本一の石炭積み出し港として栄えた若松港などの港湾をはじめとする交通基盤の整備が進むほか、門司区から鹿児島市まで続く国道3号と国道10号の起点であり交通の要所として栄えてきた。昭和38年2月10日10円記念切手が発行された。大塚均51歳時の作品です。

このコーナーでは、郵政省の切手デザインの大家である大塚均(山根丁東出身)さんがデザインされた約120余点の作品を随時紹介していきます。切手カバー・図案も合わせてお楽しみ下さい。



戸畑 小倉 八幡 若松 門司

2026		3月 地域カレンダー		須=須佐公民館 弥=弥富公民館 生=生き活き教室 学=学校・保育園行事 スポ=スポーツ関係 保セ=保健センター 子=子ども対象行事 弥G=弥富グラウンド 文セ=文化センター		
日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
1 エンジョイ Gゴルフ大会 (育英小)9:00	2 麻雀クラブ 13:00 ピンポン 13:30	3 ※ひな祭り	4 つどい会 10:00 放課後子ども教室 15:00	5	6 さつき学級 9:30 須佐中卒業式	7 須佐保卒園式
8 韓国カフェ 13:30	9 エコクラフト 9:30 ピンポン・ボッチャ 13:30 スマホ相談所 8:30	10 パッチサークル 9:30	11 歩こう会 8:45 色えんぴつ画 13:30	12 習字教室 10:00 須佐保お別れ遠足	13 物作り教室 9:30 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋 13:30 ■行政相談(須佐)	14
15 ソフトバレーボール 弥富大会 9:00 (弥富体育館) 家庭の日	16 麻雀クラブ 13:00 ピンポン 13:30	17	18 卒業証書	19 生き活き体操 8:45 さつき学級・閉講式 13:30 育英小卒業式	20 春分の日	21
22	23 エコクラフト 9:30 ピンポン・ボッチャ 13:30 麻雀クラブ 13:00 スマホ相談所 8:30	24 あおば勉強室・閉講式 13:30 小・中学校修了式	25 色えんぴつ画 9:30 音楽療法(保セ) 13:30 弥Gゴルフを楽しむ会 9:30	26 	27 手芸クラブ 9:30 囲碁・将棋 13:30	28
29 	30 ピンポン 13:30	31 パッチサークル 10:30	春季全国火災 予防運動 3/1(日)~3/7(土) 			
			高齢者の交通事故防止 県民運動 3/9(月)~3/15(日) 			

「みかん ぶた」

伝言板

●弥富物作り教室
「味噌作りに挑戦!」
○とき 3月13日(金)
午前9時30分から
○ところ 弥富交流促進センター
○持参物 材料費500円・三角巾・エプロン・マスク
※詳細は、チラシをご覧ください

絵本作家『ひらた まさのり賞』に
豊田一稀(とよたいつき)くん
須佐保育園年長

「ことばのたしざんで あたらしいいきものをうみだそう!」というテーマで、NPO萩みんなどの図書館から萩市内の保育園、幼稚園、学校へ作品の応募があり、その中から須佐保育園の豊田一稀くんが「ひらたまさのり賞」に選ばれました。作品は、2月13日から約一ヶ月間、萩図書館で展示されます。

毎月第3日曜日は「家庭の日」 今月は『15日』です ★家族みんなで過ごしましょう!			
須佐地域の人口 (R8.1月末現在)			
	世帯数	人口	前月比
須佐	912戸	1,587人	(△6人)
弥富	206戸	383人	(△3人)
合計	1,118戸	1,970人	(△9人)
昨年比	世帯数△20人		人数△78人

編集後記

人生100年の時代と巷で叫ばれるようになりました。どうせよ様の事だと思っていましたが、一番身近なところに一人おられ驚きました。私にとつては中学時代の恩師、仁保逸朗(山根丁東)さんが先日99歳の白寿(一を足すと百になる)を迎えられました。仁保さんは、現在も公民館活動に積極的に参加され、中でも生き活き教室写真クラブでは素敵な写真を出品されています。これらも元気で人生の先輩とし見守って下さい。